【今週の注目疾患】

≪災害時に注意すべき感染症≫

災害時には、汚染水の誤嚥による肺炎や創部感染など、感染の危険が増す感染症があります[1)]。

具合が悪くなった場合には、早めに医療機関を受診し、ご自身の活動内容（大雨で被災した、浸水した家屋の清掃作業をした等）についてお伝えください。

清掃作業時には、ほこりから目や口を保護するためにゴーグル・マスクを、ケガの予防のために丈夫な手袋・底の厚い靴などを着用してください[2)]。

2026年8月13日に発生した令和8年8月千葉豪雨では、県内各地で浸水被害が発生した。本稿では、災害時に注意が必要な感染症のうち、レジオネラ症、破傷風、レプトスピラ症の3疾患を取り上げる。

〇レジオネラ症

2026年第33週に県内医療機関から3例の届出があり、累計は91例となった。

2016年から2026年第33週までに県内医療機関から届出のあった1,045例の概要は次のとおり。性別は、男性が840例（80%）、女性が205例（20%）と男性が8割を占めていた。年代別は、60歳以上が805例（77%）で約8割を占めていた。

レジオネラ肺炎の潜伏期間は2日から10日で、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難、下痢などの症状を呈する。また、意識レベルの低下、幻覚、手足が震えるなどの中枢神経系の症状を伴うこともある。特に高齢者、大酒家、喫煙者、透析患者、移植患者や免疫機能が低下している人もレジオネラ肺炎のリスクが高いとされている[3,4)]。ポンティアック熱の潜伏期間は1日から2日である。突然の発熱、悪寒、筋肉痛で始まるが、一過性で治癒する[3,4)]。

感染経路としては、河川の水等を吸引・誤嚥したことによる感染、汚染された土壌の粉塵を吸い込んだことによる塵埃感染、エアロゾルを発生させる環境を感染源とするエアロゾル感染などがある。通常、ヒトからヒトへ感染することはないとされている[3,4)]。対策としては、エアロゾルが発生する高圧洗浄や、粉塵が発生する腐葉土の取り扱い等にあたってはマスクを着用する[4)]。また、清掃やがれき・汚泥の除去等の作業でレジオネラ菌を含む粉塵やエアロゾルを吸い込むことにより感染するおそれがある。清掃等の作業にあたる場合には、感染予防のためマスクを着用する[2)]。

〇破傷風

2026年第33週に県内医療機関から届出はなく、累計は3例であった。

2016年から2026年第33週までに県内医療機関から届出のあった55例の概要は次のとおり。性別は、男性が35例（64%）、女性が20例（36%）であり、男性が多かった。年代別は、60歳以上が43例（78%）で約8割を占めていた。

破傷風の潜伏期間は、3日から21日（平均10日）で、開口障害、顔面けいれん、嚥下困難などから始まり、呼吸困難や後弓反張に移行する。重篤な場合、呼吸筋の麻痺により窒息死することがある[5)]。

感染経路としては、主に外傷から土壌中の芽胞が侵入することによる。対策としては、ワクチンが有効である。日本では 1968 年に定期接種化され、報告数が減少したが、ワクチン接種歴のない高齢者を中心に報告があり、注意が必要である。けがをした場合には、土壌などに汚染された傷を洗浄する。そのほか、ワクチンと免疫グロブリンによる曝露後予防も行われることがある[5)]。

○レプトスピラ症

2026 年に県内医療機関からの届出はない。

2016 年から 2026 年第 33 週までに県内医療機関から届出のあった 5 例の概要は次のとおり。性別は、全て男性であった。年代別は、70 代が 2 例（40%）、10 代・20 代・60 代が各 1 例（各 20%）であった。

レプトスピラ症の潜伏期間は、5 日から 14 日程度で、突然の悪寒、発熱で発症する。軽症型では発熱や筋肉痛などの風邪様症状のみで軽快する。重症型では黄疸や出血、腎障害などが起こり、死亡することがある[6,7)]。

感染経路としては、げっ歯類をはじめとする保菌動物の尿で汚染された水や土壌に、傷や粘膜が接触することによる。豪雨や台風による洪水後の発生や大雨後の沼地や河川での作業、農作業による感染が各地で報告されている。対策としては、感染動物の血液や尿、汚染された水や土壌と傷口や粘膜が接触しないよう適切な服装をする[6,7,8)]。

■引用・参考

1)日本感染症学会：東日本大震災－地震・津波後に問題となる感染症 version2
https://www.kansensho.or.jp/modules/topics/index.php?content_id=18
2)千葉県健康福祉部健康福祉政策課：浸水した家屋等の消毒方法について
https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/shinsuikaokusyoudoku.html
3)厚生労働省：レジオネラ症
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html
4)国立健康危機管理研究機構：レジオネラ症
https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ra/legionella/index.html
5)国立健康危機管理研究機構：破傷風
https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/tetanus/index.html
6)国立健康危機管理研究機構：レプトスピラ症
https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/leptospirosis/index.html
7)国立健康危機管理研究機構：IASR2016年6月号 レプトスピラ症2007年1月から2016年4月
https://id-info.jihs.go.jp/niid/ja/leptospirosis-m/leptospirosis-iasrtpc/6518-436t.html
8)国立健康危機管理研究機構：IASR2023年2月号 レプトスピラ症の発生状況
https://id-info.jihs.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/11809-516r06.html